

# 【アイドリングストップ支援機器 別紙1 記入例】

上限台数：1事業者、5台(枚)まで

※各記入事項をもれなく記入してください。

別紙1

アイドリングストップ支援機器 車両別請求内訳

平記 載 不 用 要 日

会社名 株式会社 ☆☆輸送

導入営業所名 本社営業所

No.	アイドリングストップ支援機器導入機器内容					装着車両内容		
	導入機器 (該当機器を○印で囲む)	メーカー名 機器名(型式)	補助対象経費 本体購入価格 (税抜)	トラック協会 請求金額(円)	導入日	国の補助 制度利用 有無	車両型式 (PK-, BDG-等)	登録番号
1	蓄熱マット等	A社 あったかマット (SW-EP2)	15,000	9,000	H23.6.4	有 ○無	PB-品川100あ	△△△△
	エアヒータ							
	外部電源用クーラー							
	車載バッテリー式冷房装置							
	スタンバイ装置							
2	蓄熱マット等	B社 ホットマット (HOK-AB)	28,500	15,000	H23.6.26	有 ○無	PA-品川400い	△△△△
	エアヒータ							
	外部電源用クーラー							
	車載バッテリー式冷房装置							
	スタンバイ装置							
3	蓄熱マット等	C社 エアヒータ (K-34Z)	171,000	85,000	H23.7.7	有 ○無	ADG-品川100い	△△△△
	エアヒータ							
	外部電源用クーラー							
	車載バッテリー式冷房装置							
	スタンバイ装置							
4	蓄熱マット等	D社 バッテリー式クーラー (626E)	250,000	120,000	H23.7.20	有 ○無	PKG-品川100か	△△△△
	エアヒータ							
	外部電源用クーラー							
	車載バッテリー式冷房装置							
	スタンバイ装置							
5	蓄熱マット等	計	229,000	-	-	無	-	-
	エアヒータ							
	外部電源用クーラー							
	車載バッテリー式冷房装置							
	スタンバイ装置							

受付窓口にて記入。

請求明細書に記載されている金額(税抜き)単価をそれぞれ記入。

国の補助制度を受けているときは“有”に○印。

◎補助金額の計算について  
※1,000円未満切捨。各機器種類による補助上限金額有。

①No. 1 蓄熱マット等 対象額15,000円の場合  
東ト協のみ=(15,000×3/5=9,000円)→9,000円  
≪蓄熱マット等 3/5額か、上限15,000円の低い方≫

②No. 2 蓄熱マット等 対象額28,500円の場合  
東ト協のみ=(28,500×3/5=17,100円)→15,000円  
≪蓄熱マット等 上限 15,000円≫

③No. 3 エアヒータ 対象額171,000円の場合  
全ト協のみ=(171,000×1/2=85,500円)→85,000円  
≪エアヒータ等 1/2額か、上限120,000円の低い方≫

④No. 4 車載バッテリー式冷房装置 対象額250,000円の場合  
全ト協のみ=(250,000×1/2=125,000円)→120,000円  
≪車載バッテリー式冷房装置 1/2額か、上限120,000円の低い方≫

機器対象のメーカー名・機器名、型式を記入。

該当の機器の種類を○印で囲む。

※ 機器は1社5台(枚)まで。また、車両1台につき1台(枚)まで。

補助金合計額を記入。(【様式1】1. 請求金額と同じ額)